

平成 29 年度

鹿嶋市教育行政運営方針

鹿嶋市教育委員会

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

1 学び高め合い、生きる力を育む学校教育の推進	(1) 幼児教育の充実
	① 子育て支援事業の実施
	② 幼稚園・保育園・認定こども園連携による幼児教育の推進
	③ 公立・私立幼保が連携した小学校教育への円滑な接続
	④ 預かり保育の充実
	(2) 豊かな心の育成
	① 様々な体験活動を活かした学びの充実
	② 家庭・学校・地域が一体となった道徳教育の推進
	③ 人権教育の充実
	④ 体育・文化的課外活動等の奨励及び支援の充実
	(3) 健やかな体の育成
	① 食育の実施と学校給食における地産地消の更なる取り組み
② 体力や運動能力向上を目指す学校体育活動の充実	
③ 健康教育の推進	

<p>[1] 幼児教育の充実</p> <p>①②③④ 人の成長過程において3歳児という段階は、保護者、家庭だけでなく様々な人との関わりや自立心、好奇心が大きく育つ大切な時期と言われています。そこで3歳児から幼児教育を始め、集団生活を通した5歳児までの連続した学びを行うことで、子どもたちの発達を促し、小学校への円滑な接続が期待できます。本市では平成23年度に「スタートカリキュラム」を作成し、平成28年度には、すべての幼児教育・保育施設において活用できるカリキュラムとなるよう「アプローチ・スタートカリキュラム」へ改訂しました。平成29年度は、私立幼稚園との連携を図りながらより充実した内容とするため、発達段階に応じた指導内容や指導方法を検討するとともに、より生活や学びへつながるものに改善していきます。</p> <p>また、市立幼稚園では、平成29年度から新たに三笠、高松幼稚園で3歳児保育を開始し、市立幼稚園全園で3年保育を行う体制が整いました。新たに3年保育を行う園については、従来からの2年保育の教育課程に加え、新たに編成した3年保育の教育課程に基づき保育を行います。教育課程については、「アプローチ・スタートカリキュラム」を含め、全園にて保育の実践に併せて、随時見直しを行いながら、より良い内容となるよう検証・改善を行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育課程の進捗確認（1回/2週間） ■教育課程の検証・改善（学期毎） ■次年度の教育課程の編成 ■未就園児ふれあい事業 <p>参照：[17] 青少年の体験・健全育成活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊共同学習の実施（小学4年生） ・「鹿嶋っ子夏フェス」（FMかしま共催小学5・6年生）等 ・「マナーアップ運動」の実施 ・子ども会、青少年育成市民会議、ボーイスカウト・ガールスカウト等各種団体活動の奨励 ・児童生徒・保護者・教職員の人権感覚の現況把握と人権教育の推進体制の充実 ・教職員の人権教育の計画的、継続的な研修の充実 ・スポーツ大会出場報奨金（10千円/人 50千円/団体） ・鹿嶋市教育会事業報奨金（部活動全国大会、関東大会参加事業500千円/校等） <p>[2] 食育の推進と学校給食施設の改善、滞納対策の強化</p> <p>①③ 食で育む元気な体と豊かな心を養うために、栄養教諭等による訪問指導に加え、給食指導や学級活動の場において食育を推進します。また、地元生産者の協力の下、学校給食における地産地消を推進します。</p> <p>給食費等の徴収および滞納問題に対する対策は、平成26年度から学校給食費の口座振替を実施したことにより、児童生徒の現金持参によるリスク回避や教職員の学校給食費徴収の負担軽減を図ることができましたが、一方で口座残高不足等による滞納問題も生じています。計画的な滞納整理を行うとともに、徴収手法をはじめとした制度の見直しを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地元産（しらす）使用の献立（3回/年） ■戸別訪問による滞納整理（1回/月）、督促状（2回/年） ■関係課による制度見直しの検討会議開催（3回/年）
--

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

1 学び高め合い、 生きる力を育む 学校教育の推進	(4) 確かな学力の保障
	① 鹿嶋市授業改善プロジェクトによる授業の推進
	② 小学校高学年における専門性を生かした学習指導の充実
	③ 少人数教育によるきめ細かな指導の推進
	④ 学力調査の結果分析と活用
	⑤ 小中学校での英語教育の充実
	(5) 時代の要請に応える教育の推進
	① ICT機器を活用した情報教育の充実
	② コミュニケーション能力の育成
	③ 主権者教育、消費者教育、環境教育、男女平等教育等の充実
	④ 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進
	(6) キャリア教育の推進
	① 小中連携による9年間を見通した組織的系統的なキャリア教育の推進
	② 職場見学・職場体験活動を通じた郷土資源の再発見
	(7) 郷土理解教育と国際理解教育の推進
	① 郷土理解教育の推進
	② 国際理解教育の推進
	③ 地域間・国際交流事業の実施

[3]生きる力の育成を通じた学力向上のための授業改善
 (1)①②③④(2)①②③ 平成28年度の全国学力・学習状況調査で、本市児童生徒は過去最高の結果を出したように、学力は確実に向上しています。平成29年度は、小中のすべての領域で全国平均を超えることができるよう「授業改善プロジェクト（重点校：小学校2校、中学校3校）」をさらに進めていきます。
 平成29年度はプロジェクトの重点実践課題を「主体的・対話的で深い学びを充実させるためのカリキュラムマネジメントを各校の特色や実態に応じて策定し、校内の共通理解を図る。」としました。これは、市内各小中学校が自校の特色や実態に応じたカリキュラムを編成することから各校指導体制の組織力を高めることにより児童生徒の更なる学力向上を図ることを目指したものです。
 ■重点校対象授業研修（5回／年 重点5校）
 ■教員研修（3回／年 全体研修）
 ■指導主事校内研修（随 時）
 ■指導主事授業研究支援実施（随 時）

[4]小学校英語科導入を見据えた指導法の展開
 ⑤ 平成28年度より、平成30年度の小学校英語教科化先行実施を見据え、ALT主導から担任主導型の授業展開に変更しています。平成29年度は、小学校1～2学年で年間20時間の活動型の授業、3～4年生で年間35時間の活動型の授業を新たに実施するほか、5～6年生においては年間35時間の教科型の授業を実施し、市独自のカリキュラム作成を進めます。
 また中学校では引き続き全校でコミュニケーション英語活動の研究を推進し、コミュニケーション英語実施率100%を目標とします。そのほか英検Jr.（児童の英語能力の調査・研究を目的に、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目指して、児童向けに「育成型ゲーム感覚」で行うリスニングテスト）平均正答率81%、英検IBA（実用英語技能検定と共通のスコア尺度で成績の比較可能テスト）「英検3級レベル」33%、アトリス会話分野平均ランクB+を目標とします。
 ■小学校英語教科化先行実施に向けたカリキュラムの作成
 ■英語能力判定テストの実施（小学5,6年生、中学3年生）

- ・学校における防災教育
- ・地区防災訓練への参加

参照：[7]小中一貫教育の導入の推進

- ・学校における計画的キャリア教育の推進
- ・課外活動（青少年科学の祭典への出展等）への参加の推進

- ・職場体験、職場見学の実施
- ・各種地域活動への参加の推進

参照：[9]家庭・学校・地域の連携
 [17]青少年の体験・健全育成活動の推進

- ・文化財愛護かるた大会の実施（文化財愛護協会主催）
- ・歴史探検隊の実施（文化スポーツ事業団主催）

- ・イングリッシュラウンジ、鹿島学園留学生交流授業
- ・日本語スピーチコンテストにおける生徒審査委員
- ・ブリティッシュヒルズでの英語研修（中学3年生30名）

- ・姉妹都市韓国西帰浦市中学生とのホームステイによる相互交流（中学2年生18名）

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

2 豊かな学びを支える 教育環境づくり	(1) 安心・安全・快適に学べる教育環境の整備
	① 公民館、図書館等の社会教育施設の改修・整備
	② 小中学校大規模改修の計画的な実施
	③ 安定的な学校給食の提供と給食センター機能の充実
	④ 鹿嶋市教育・保育施設設備整備方針に基づく幼児教育施設の整備
	⑤ 学校体育で利用可能な温水プールの新設
	⑥ いじめ対策の拡充と相談機能の充実
	⑦ 市採用教職員等の適正配置
	⑧ 鹿嶋市教育会が実施する児童生徒対象事業への財政的支援
⑨ 情報機器活用場所拡大のための環境整備	

[5]教育環境の整備

- ① 迅速な施設の維持補修
- ② 市内の教育関連施設については、その多くが建築から20年以上経過し、経年劣化が進んでいます。安全、安心な教育施設として、施設の長寿命化等適切な維持管理を図るため「学校施設等改修計画」に基づき計画的に大規模改造工事等を推進します。また、老朽改修工事と並行し、学校施設におけるエアコンの設置を推進します。
平成29年度は、国の前年度補正予算で採択となった鹿野中学校・鉢形小学校の大規模改修及び鹿島小学校のエアコン設置工事を実施するほか、10小学校のエアコン設置へ向けた実施設計を行います。
■鹿野中：外壁補修並びに全面塗装、教室（床、壁、天井）の改修、エアコン設置14室（普通教室、特別支援教室、図書室、PC室）等
■鉢形小：外壁補修並びに全面塗装、教室（床、壁、天井）の改修、エアコン設置16室（普通教室、特別支援教室、図書室、PC室）等
■鹿島小：エアコン設置22室（普通教室、図書室、学習室）
■小学校10校（140教室程度分）エアコン設置実施設計
■（小中学校の机・椅子の計画的な入換え）
- ③ 給食センターが稼動して10年が経過し厨房機器等の交換修繕により事故等の防止に努めています。また、大野中学校の調理場は28年が経過し老朽化が激しく大規模な修繕が必要な状況にあります。引き続き施設の適正管理に努め、改修・改築の検討を進めます。
- ④ 施設の老朽化、園児の減少、高まる保育ニーズ、子育て支援施策の充実など諸問題の解決を図り、併せて中長期にわたる時世毎の教育・保育の需要と供給のバランスを考慮した適正な施設整備と配置、それらに基づく計画的な幼稚園教諭・保育士の人材確保を目的として、市健康福祉部と連携して公立幼保施設全体の整備計画を策定します。
■策定に係る市健康福祉部との会議開催（3回）
- ⑤ 現在、市内の鹿島地区の一部小中学校においては、学校プールの老朽化により、高松緑地や民間施設を利用して授業を実施しています。大野地区の4小学校及び1中学校の学校プールにおいても、老朽化により維持管理が困難になることが予想されることから、学校プールの集約化並びに一般利用に供する効率的施設の運営方針の下、地区内に温水プールの整備を計画しています。平成28年度に実施設計及び地質調査を実施し、平成29年度内の工事着工、30年度内の完成の予定です。運用は大野地区の5つの学校と調整しながらその利用を優先し、施設の空き状況により一般利用に供するものとする事により、学校施設の効率的運営並びにスポーツ・健康面における市民サービスの提供を図ります。
■屋内温水プール：25m×7コース、採暖室、シャワー室、更衣室、多目的室（トレーニング室）、談話室等

- ⑥ 「いじめ問題対策委員会」「いじめ問題等連絡協議会」の開催
- ⑦ 市採用職員（7名）、AT（33名）、TT（14名）専科担当講師（7名）の適切な配置
- ⑧ 鹿嶋市教育会事業報奨金（①教員研修、体育・文化活動支援
②校外学習：キャンプ、修学旅行等1千円/小6年生 1.5千円/中1年生）③部活動全国大会及び関東大会参加事業500千円/校）

参照：[1]幼児教育の充実

参照：[2]食育の推進と学校給食施設の改善、滞納対策の強化

参照：[12]幼保小中連携型教育相談活動の充実

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

2 豊かな学びを支える教育環境づくり	(2) 一人ひとりの特性に目をむけた特別支援教育の充実
	① 特別支援教育の推進のための指導・支援体制の充実
	② 特別支援教育に関する教職員の専門性の向上
	③ 連続性のある多様な学びの場と支援の充実
	④ 障がい児保育の実施
	(3) 地域の実情に配慮した特色ある学校づくりの推進
	① 特色ある学校教育の推進
	② 小中一貫教育の推進
	③ 通学区検討委員会による通学区の検討
	④ 情報の提供や広報活動・ホームページの充実
	⑤ 学校評価の充実
	⑥ 学校活動における社会人ボランティアの活用

<p>[6]特別支援教育事業の充実</p> <p>①②③④ 本市における特別支援学級に在籍する児童生徒は、平成29年1月末現在で小学校が136人、中学校が71人、合計207人で児童生徒総数の約3.8%となっています。</p> <p>特別支援教育は、自立と社会参加を見据えながら、その時点で教育的ニーズに最も確に答える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要です。</p> <p>そのため保護者を含め関係者が教育的ニーズと必要な支援について共通理解を深めるよう、小中学校の通常の学級、通級による指導、特別支援学級が連携したきめ細かな支援と、幼保小・中学校と連続性のある「多様な学び場」を整備し、特別支援コーディネーターのリーダーシップのもと支援体制を整えています。</p> <p>■就学相談の実施（3歳児～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児訪問教育相談（幼稚園・保育園等） ・訪問教育相談の実施（小学校・中学校等） <p>■特別支援コーディネーター研修会</p> <p>■教育支援計画ファイルの作成及び継続的活用</p> <p>■特別支援担当教諭の適正配置</p>
<p>[7]小中一貫教育の導入の推進</p> <p>①② 小学校から中学校へのスムーズな移行及び9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」が育まれるなどの効果・メリットが見込まれる小中一貫教育の導入に向けた準備を昨年度に引き続き鹿嶋市小中一貫教育検討委員会を中心に行います。パイロット地区である高松地区で平成30年度（仮称）高松小中一貫校の開校に向けた準備として、整備計画を策定し、教育課程編成や必要な施設改修、物品等購入を行います。また、授業の乗り入れによる教科担任制や同校で力を入れて取り組む英語活動・キャリア教育、小学生の部活動参加などについての調整を進めます。調整した内容については、随時市民に周知していきます。</p> <p>■検討委員会（4回/年）</p> <p>■専門部会「調査部会・教育課程部会」（4回/年適宜先進地視察を実施）</p> <p>■学校と教育委員会事務局の連絡会議（1回/月）</p> <p>■高松小中一貫校整備計画の策定</p>
<p>[8]通学区再編成の検討</p> <p>③ 平成28年度に引き続き学識経験者、PTA代表者、市立学校代表者及び地域関係者で構成される鹿嶋市小中学校通学区再編成検討委員会を開催し、通学区の見直しを検討します。今年度は、同じ行政区で通学する学校が違う箇所やどの行政区にも属さない箇所を小学校単位毎に土地の利用状況や行政区への加入状況などを調査し、通学区（案）をまとめ、平成30年度の公表・意見集約に向けた準備を進めます。</p> <p>■検討委員会（4回/年）</p>
<p>[9]家庭・学校・地域の連携</p> <p>⑥ 地域全体で学校を支え、地域ぐるみで子どもを育てる「学校支援ボランティア」制度を推進（登録者数並びに活用件数のアップ）し、地域教育力の向上並びにコミュニティの形成を図ります。</p> <p>■学校運営協議会及びまちづくり委員会における学校支援の協議（1回/学期）</p> <p>■学校支援コーディネーター研修会（1回/年）</p>

- (3) ④「学校・幼稚園だより」、HPや地域公開授業の実施
⑤ 学校運営協議会を通じた保護者及び住民の意向把握

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

2 豊かな学びを支える 教育環境づくり	(4) 教職員の資質と指導力の向上	
	①	意欲と指導力のある教職員の指導・育成
	②	内地留学研修や教育論文などの参加への支援
	③	教職員の負担軽減に向けた取り組みの推進
	④	校内コンプライアンス委員会の充実
	(5) 読書活動の推進	
	①	学校図書館と中央図書館の連携による読書活動の推進
	②	図書館基本計画等の推進
	(6) 教育センターの機能の充実	
	①	幼児、児童・生徒、保護者、教職員の相談・支援活動の充実
	②	不登校、長欠対策の支援
	③	教職員研修・研究の充実
	④	教育指導員・各相談員による効果的な学校支援体制の確立
	⑤	教育情報の発信と教育関係資料の収集

参照：[3]生きる力の育成を通じた学力向上のための授業改善
[4]小学校英語科導入を見据えた指導法の展開
[9]家庭・学校・地域の連携

[10]学校図書館の整備

(5) ① 平成29年5月末に従来の学校図書館情報システムが期間満了となることに伴い、公共図書館と統一した新しい図書館情報システムを導入します。システム更新に伴う機器の入れ替えを行い、6月から新システムを稼働します。また、昨年度に環境整備を行った鹿島中学校及び大野中学校の蔵書登録等を行い、9月にリニューアルオープンを行います。

■図書館（嘱託）職員派遣による鹿島中学校及び大野中学校の蔵書登録作業等（1回/週）

[11]図書館活動の充実

①② 平成29年度は、公共図書館（中央図書館・大野分館）と学校図書館17校を一括して、新システムを更新し、6月から新システムを稼働します。公共図書館では、新たなサービスとして、読書手帳の導入、電子図書館の開設（秋に開設予定）を実施します。このサービスにより、ハイブリット図書館（書籍や雑誌などのリアルな“紙”の図書館と、電子図書館の機能を混在させた図書館）の構築が期待されます。また、学校図書館における、公共図書館司書との人事交流や合同研修会等による研鑽、さらには新システムの「探調ツール」の導入により、今まで以上に2者間の情報・資料の共有が可能となり、その連携を通じ読書推進活動の充実を図ります。併せて、主催講座の充実並びに利用者のネットワークづくり及び市民活動の活性化を図ります。

■読書手帳の導入

■電子図書館の開設

■図書館ボランティア養成講座、古典文学鑑賞講座、天文学講座の開催

[12]幼保小中連携型教育相談活動の充実

①②③④⑤ 個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えながら、その時点で教育的ニーズに最も確にこたえる指導を提供できるよう、多様で柔軟な仕組みを整備します。

具体的には就学前相談や幼児の発達傾向に関わる問題、いじめ・虐待など二次障害に起因し比率が高まるといわれている不登校や問題行動等、多岐にわたる教育相談を教育センターで行います。

毎週月～金曜日を相談日とし、園や学校への訪問相談や教育センター内で行う来室相談を就学相談員が実施するほか、ケースによって教育指導員、適応指導教室相談員も加わり、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を保障するために、本人、保護者、教職員に十分な情報を提供していきます。

[13]不登校・長欠解消支援の充実

② 不登校児童生徒を含む長期欠席児童生徒の社会的自立の実現に向けた支援を行い、学校生活への復帰を目指します。

平成16年度以降、長期欠席率が高水準で推移していますが、平成28年度は小学校で38人、中学校83人で前年度を下回りました。

平成27年10月に教育センターを開設し、相談体制を一元化したことにより、適応指導教室相談員と教育指導員、就学相談員の連携が図れており、今年度も支援体制を強化しながら、長欠児童生徒の減少（小学生1%以下・中学生5%以下）並びに児童生徒の意識調査（自己有用感の確立の回答）において、学校生活に満足する児童90%、生徒85%以上を目指します。

■就学相談の拡充、適応指導教室「ゆうゆう広場」の相談体制強化並びに「不登校対策連絡協議会」の実施

適応指導教室相談員（6名）就学相談員（2名）配置

③ 教員専門職化、若手育成、AT等の研修

④ 情報共有化による学校支援

⑤ 有益な情報の収集及びタイムリーな発信

参照：[6]特別支援教育事業の充実

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

3 子育てのための家庭教育への支援	(1) 家庭教育に関する学習機会の充実
	① 家庭・学校・地域が連携した子育て支援ネットワークづくりの推進
	② 親のための学習活動支援の充実
	(2) 家庭教育，子育てに関する相談機能の充実
4 様々な学びを通じた地域づくりと地域の教育力の向上	(1) 社会教育の充実と多様で主体的な生涯学習活動の推進
	① 学習に取り組める場と学習機会の充実
	② 能力や経験が生かされる仕組みづくり
	③ 社会教育関係団体への支援
	(2) 学校・公民館を核とした地域コミュニティの形成
	① まちづくり委員会活動の支援
	② 子どもたちの居場所づくり事業の実施
	③ 子どもや若者の地域参加の促進
	④ 公民館まつり等の実施

[14]家庭教育支援体制の構築 (家庭教育力向上推進事業)

(1)①②(2)①② 既存の家庭教育事業を継続するとともに、29年度は地域の人材、保健・福祉部局等と協働した、訪問型支援等の幅広い支援を行う家庭教育支援体制を構築し、家庭や子どもを地域で支える取り組みを推進、強化します。

- 子育て講演会 小学校就学児健診時、中学校入学説明会時に保護者を対象
- 家庭教育を考える集い 2月 学校、PTA、公民館職員80名対象
- メディア講習会 2月 中学校入学予定児童保護者対象
- 訪問型家庭教育支援
 - ・家庭教育支援チーム(2人×4チーム)の設置
 - ・家庭訪問の実施(15回/年)
 - ・ケース会議(6回/年)
 - ・学校との情報交換(6回/年)
 - ・家庭教育推進協議会(4回/年)

参照：[9]家庭・学校・地域の連携

- ① 出前講座(市各担当部署による57メニュー)の設置
- ② 公民館講座の充実、学校支援ボランティア制度の推進
- ③ 「かしま灘楽習塾」並びに各種サークル、子ども会、PTA等の支援

[15]公民館活動(まちづくりセンター)と運営体制の充実
①③④ 学校と連携した事業展開のもと、児童・生徒の健全育成並びに各種公民館事業を通じ、地域コミュニティの形成を図ります。また、すべての公民館に行政経験豊かな「地域活動支援員」を配し、地域の課題解決や地域特性の把握、各種公民館事業(まちづくり委員会事業)の支援により、これまで展開してきた市民主体のまちづくり活動の一層の充実を図ります。

- まちづくり委員会事業委託：公民館事業 約250事業/年(夏まつり、住民体育祭、公民館まつり等)
- まちづくり連絡協議会運営、市民大会の開催

[16]放課後子ども総合プランの推進と充実

② 放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」を一体的に展開します。

また、地域の人たちと地域の特色を生かしたさまざまな体験活動や交流を目的に休日の子ども教室を実施します。

<放課後子ども教室>(平日)三笠、大同東小除く1~3年生 250人(休日)全校開催

<放課後児童クラブ>全校実施 911人

<休日子ども教室>全公民館、ミニ博物館「ココシカ」254人(H28年度)

- 児童クラブ及び子ども教室の運営
- 受託者との連絡調整及び情報交換
- 放課後子どもプラン運営委員会開催(3回/年)

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

4 様々な学びを通じた地域づくりと地域の教育力の向上	(3) 生きがいづくりにつながる文化的活動の促進
	① 芸術祭・市美術展等の発表の場の拡充
	② 生涯学習活動団体の支援・育成
	(4) 市民ぐるみで行う青少年健全育成の推進
	① 子どもの学びを地域で支える仕組みづくり
	② フロントニア・アドベンチャーなどの青少年の交流と活動の促進
	③ 青少年相談員活動の充実
	④ メディアリテラシー教育の推進・情報モラルの向上
5 伝統文化・芸術の振興	(1) 豊かな感性を育む芸術文化に親しむ機会の提供
	① 勤労文化会館等を活用した事業の充実
	② 学校、施設等の様々な場所で芸術に親しむ機会の提供
	(2) 歴史、文化遺産（有形・無形）の保存・保全と継承
	① 国・市指定の史跡の整備
	② 歴史資料の収集と地域資源の保存と活用
	③ 伝統文化の保護と継承
	(3) 郷土に誇りをもてる学びの推進
	① 郷土の自然や歴史にふれる機会の充実
	② 郷土の歴史を学び親しめる施設の整備

参照：[18]芸術文化に親しむ機会の提供

- ・市美術展覧会 6月下旬～1週間（絵画、写真、書、工芸）
- ・市芸術祭10月下旬～1週間（絵画、写真、書、工芸ほか6部門）
- ・文化フェスティバル 2月下旬～2週間（文化連盟10団体）
- ・「文化スポーツ事業団」、 「鹿嶋市文化協会」及び関連団体、「かしま灘学習塾」等の支援並びに連携

[17]青少年の体験・健全育成活動の推進

- ①② 集団生活の中で体験活動を通して、生きる力、忍耐力、自立心、協調性などを養い、青少年の心の豊かさやたくましさを育むため、フロントニア・アドベンチャー事業を実施します。
- フロントニアアドベンチャー：7/24～8/4 10泊11日 小学5、6年生70人による課外活動
- ③ 青少年を取り巻く環境が変化中、学校・地域・青少年関係団体が連携し、良好な社会環境づくりが求められている。青少年の健全育成のため、「あいさつ声かけ運動」や地区の巡回等の活動を実施します。
- 心とからだの講演会 中学生対象 6回/年
■青少年相談員（約50人）による街頭指導等
■メディア教育講演会 中学入学予定者保護者（1回/年）

参照：[9]家庭・学校・地域の連携
[14]家庭教育支援体制の充実

[18]芸術文化に親しむ機会の提供

- ①② 芸術文化に親しむ機会の提供と市民交流を目的に、「第3回鹿嶋市第九交響曲コンサート」を実施します。また、鹿嶋勤労文化会館の自主事業（芸術等鑑賞会および文化・スポーツに関する事業等）について支援をしていきます。さらに、文化協会等と連携し「市美術展覧会」「市芸術祭」「文化フェスティバル」を開催します。
- 第3回鹿嶋市第九交響曲コンサート 12/10 参加者80人
■地区公民館における作品展示

[19]国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」(神野向遺跡)の保存・活用

- ①②③ 鹿嶋市の有する貴重な史跡である「鹿島神宮境内附郡家跡」の整備・活用の指針として、保存活用計画を平成28年度から30年度までの3か年で策定していきます。また、市政企画部が検討を進める歴史資料館を含む複合型施設と「鹿島神宮境内附郡家跡」のガイダンス施設との関係性を整理するなど連携を図っていきます。
- 史跡等保存活用計画の策定（～H30）
・史跡検討委員会（3回/年）
■公有地の維持管理
■ミニ博物館（ココシカ）の運営委託

- ・子ども歴史探検隊事業の実施
- ・各公民館における史跡、名所めぐり等の実施

- ・「ときどきセンター」「ココシカ」「はまなす郷土資料館」の充実
- ・鹿島神宮境内附郡家跡史跡の見学路等の整備
- ・歴史資料館の整備推進

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

6 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(1) 幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進
	① スポーツ事業の開催と機会提供
	② スポーツ情報の発信
	③ 障がい者スポーツの推進
	④ スポーツによる国際交流の推進
	(2) スポーツ団体の育成支援と指導者の育成
	① スポーツ団体の育成支援
	② スポーツ指導者の育成と確保
	(3) スポーツ環境の整備・充実
	① 広域的な大会に対応できる施設整備
② 誰もが利用できる温水プールの整備	

<p>[20]スポーツ活動の推進，スポーツを通じた交流の推進 (1)①②③④(2)①②</p> <p>スポーツコンベンションの推進を念頭に関係機関と連携し観光・地域資源を活用した事業を展開します。2019年茨城国体や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機運を生かした記念事業の開催，さらに，スポーツ推進委員と各公民館の連携事業や市体育協会，かしまスポーツクラブと市文化スポーツ振興事業団が行うスポーツ・健康づくりの取り組みの活発化等により，第2次鹿嶋市スポーツ推進計画で掲げる，成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目標にスポーツ振興を図ります。</p> <p>また，目標達成へ向けた環境づくりとしてスポーツ推進委員による健康スポーツの推進，スポーツ指導者の育成等を行います。障がい者スポーツについては，指導者養成プログラムをスポーツ指導者養成講座の中に盛り込み，その推進を図ります。スポーツ施設については引き続き，夏季期間におけるト伝の郷運動公園多目的球技場の早期解放など，整備工事の状況をみながら指定管理者と連携し，利用しやすい施設管理に努めます。</p> <p>■「鹿嶋サッカーフェスティバル」，「塚原ト伝杯武道大会（柔道の部，剣道の部）」，「アントラズカップかしまビーチサッカー大会」，「駅伝大会」，「エンジョイスports in鹿嶋」等の開催</p> <p>■「地区健康づくり事業」，「子どものトレーニング教室」等の開催</p> <p>■障がい者指導者の養成講座及び障がい者が参加できるスポーツ教室の開催。</p> <p>■スポーツカレッジ（10講座）の開催</p> <p>■「かしま SPORTS NAVI」の運用</p>
<p>[21]平成31年度茨城国体の開催準備 (3)① 第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体2019）が平成31年度に本県で開催されます。本市ではサッカー競技（成年・少年）40試合が行われる予定です。平成29年度は，「総務・企画」，「競技・施設」，「宿泊・交通・衛生・警備」の各専門委員会を設置し，開催に向けた協議を進めます。また，施設整備として「ト伝の郷運動公園多目的球技場」及び「高松緑地多目的球技場」を改修するとともに，大会のPRや先催県の情報収集を行いながら，国体開催に向け準備を進めていきます。</p> <p>■ト伝の郷運動公園：公認人工芝（サッカー競技場2面），照明4基，スタンド198席1箇所，99席2箇所</p> <p>■高松緑地多目的球技場：公認人工芝（サッカー競技場1面）</p> <p>■専門委員会「総務・企画」，「競技・施設」，「宿泊・交通・衛生・警備」の設置</p> <p>■国体及びリハーサル大会に関する各計画・実施要項作成</p>

参照：[5]教育環境の整備

平成29年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

《第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画》
基本方針・主要施策・具体的事業

教育行政運営方針

7 教育における今日的な課題への対応	(1) 教育と福祉が連携した子どもたちへの支援
	① 子どもや家庭に対する早期からの相談支援体制の充実
	② 学びを支える経済的支援の充実
	③ 不適切な養育から子どもを守る取り組みの充実・強化
	(2) 主権者教育、消費者教育の推進
	① 主体的に政治的参加意識を高める主権者教育の実践
② 消費者としての自立を促す消費者教育の推進	

参照：[12]幼保小中連携型教育相談活動の充実
[14]家庭教育支援体制の構築（家庭教育力向上推進事業）

- (1) ① 訪問型家庭教育支援事業の展開
- ③ 福祉担当部署と連携した「ケース会議」の開催

[22]奨学金制度の充実

② 平成8年度より高塚奨学基金を財源に年30人、貸付額及び返還額3千万円／年程度の奨学金の貸与事業を行っています。就職難等により卒業後に返還できる収入を確保できない人や貸与額が他の制度と比べて低いこと等の問題が提起されています。貸与額の見直しや返還期間の見直し、給付型奨学金、修学ローンへの利子補給制度など新しい制度の検討とともに、個別訪問等を含めた滞納対策を推進します。

■15～30千円/月（高校、高専、大学、短大、専修学校）償還最長10年

■奨学金制度改革へ向けた検討（情報収集並びにシュミレーション）

■滞納の解消（TEL、通知及び訪問による督促）

（新規貸与人数）	30人		
（貸与中人数）	85人	貸与総額	174,646千円
（返還中人数）	157人		
（滞納人数）	21人	滞納総額	5,150千円

（平成29年5月1日現在）

- (2) ① 学校授業での教授。
- ② 学校授業での教授、公民館における消費者講座の開催

参照：[14]家庭教育支援体制の構築（家庭教育力向上推進事業）

[23]教育に関する「大綱」及び第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画の進行管理

平成28年3月に「鹿嶋市教育大綱」および「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」を策定しました。「鹿嶋市教育大綱」は鹿嶋市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策・方針をまとめたものであり、また、教育振興基本計画は大綱を基本とし、平成37年度までの10年間に取組む鹿嶋市の具体的教育施策を示しています。定例の教育委員会において計画の進捗状況を管理することにあわせ、市長と教育委員会（教育長と教育委員）による総合教育会議を定期的で開催し、教育行政の方向性や推進について検証していきます。

※教育大綱…「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定により首長が教育委員会と協議のうえ定めることとされた、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

※教育振興基本計画…教育基本法第17条第2項において、国が定める教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じ、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を策定について努力義務が規定されている。

<参考資料>

1 鹿嶋市教育委員会委員名簿（平成29年4月1日現在）

教育長	川村 等
委員(教育長職務代理者)	小澤 和夫
委員	信樂 慙(平成29年1月1日再任)
委員	岡見 文彦
委員	原 キミ(平成28年10月1日就任)
委員	大崎 千帆(平成28年10月1日就任)

2 鹿嶋市教育委員会行政組織

【教育委員会事務局】

教育総務課	鹿嶋っ子育成課	教育指導課
社会教育課	スポーツ推進課(国体推進室)	

【教育機関】

【小学校（12校）】

波野小学校 豊郷小学校
豊津小学校 鹿島小学校
高松小学校 平井小学校
三笠小学校 鉢形小学校
大同東小学校 大同西小学校
中野東小学校 中野西小学校

【社会教育関係機関】

青少年センター
平井コミュニティセンター

【図書館（2館）】

中央図書館 大野分館

【教育センター】

【中学校（5校）】

鹿島中学校 高松中学校
鹿野中学校 平井中学校
大野中学校

【幼稚園（4園）】

三笠幼稚園
高松幼稚園
波野幼稚園
はまなす幼稚園

【学校給食センター】

【公民館】

中央公民館 鹿島公民館 高松公民館
平井公民館 豊津公民館 豊郷公民館
波野公民館 鉢形公民館 三笠公民館
大野公民館 はまなす公民館

3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設 • 鹿島小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> • 平成16年度を初年度とした10年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画を策定 • 三笠小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる • まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターを設置 • 友好都市である中国塩城市、姉妹都市である韓国西歸浦市と中学生の派遣交流を開始
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> • 読書する機会をつくるとともに関心を高めるために、鹿嶋市読書感想文・感想画コンクールを実施
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> • 学校教育法一部改正 • 全市的な英語活動を推進するため、レシピ方式による英語活動のモデル校として波野・豊津・中野東小学校を指定し、同方式を導入 • 中学生海外派遣交流事業では、中国及び韓国に、オーストラリア（カラウンドラ市）を加えた3カ国との交流を実施 • 第18回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006 in 鹿嶋」を開催 • 生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開講 • 学力向上に向けた夏季休業日の3日間短縮開始
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 教育行政の充実を図るために、教育委員会事務局部長に民間人を採用 • 教職員の資質向上と市民の教育に関する関心を高めるために、鹿嶋師範塾を設立し、各種講座を開設 • 小学校での英語教育の充実を図るため、鹿嶋英語教育特区の認定を受ける。併せて、レシピ方式による英語活動を鹿島・三笠小学校以外の小学校に導入 • 中学校英語教諭の海外派遣研修を実施 • 学校図書館の充実を図るために、専任の学校図書館司書を波野小学校に配置 • 幼稚園6園、大野中学校を除く小中学校16校に給食を供給する新学校給食センターが稼働 • 学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校の余裕教室を活用した三笠まちづくりセンター（公民館）開館 • 放課後子どもプランスタート
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育法，図書館法一部改正 • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正 • 個別指導の充実を図るために，小学校第1学年での少人数学級編制の実施 • 専任の学校図書館司書を，三笠小学校及び大同西小学校を加えた3校に配置 • 小学校での英語教育の充実を図るため，レシピ方式による英語活動を全小学校に導入 • 中国四川省大地震の発生によって，学校施設耐震化計画を見直し，完了年度を3年早め，平成23年度に変更 • 豊津小学校耐震化工事完了 • 第23回 国民文化祭・いばらき2008「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」を開催 • 公民館年間延べ利用者が30万人を超える
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> • 少人数学級編制を小学校第2学年まで拡大 • 専任の学校図書館司書を，高松小学校を加えた4校に配置 • 教育基本計画を見直し，平成21年度からの5年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画（後期）を策定 • 小学校での英語活動の充実を受け，中学校での英語科教育の研究を行うため，鹿野中学校をモデル校として指定し，中学校でのコミュニケーション英語のカリキュラムの検討を実施 • 市独自に小学校専科担当非常勤講師を2名配置
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> • 前年度の鹿野中学校での研究を踏まえ，中学校全校でコミュニケーション英語を取り入れた授業の展開 • 鹿島・高松・平井・中野東小学校，鹿島・鹿野中学校の6校耐震化工事完了 • 平成23年3月11日東日本大震災 • 専任の学校図書館司書を，中野東小学校及び平井小学校を加えた6校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校, 大同東小学校, 大同西小学校, 中野西小学校, 高松中学校の5校耐震化工事完了 • 東日本大震災により第二幼稚園園舎が被災したため, 第五幼稚園で合同保育,高松小学校敷地内に第二幼稚園舎を新築復旧 • 大野ふれあいセンター開館 • 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム完成・スタート • 専任の学校図書館司書を, 中野西小学校及び鹿島小学校を加えた8校に配置
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> • 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム改訂版作成 • 学校内研修体制の確立と指導主事による研修支援 • 小中英語連携によるコミュニケーション英語カリキュラム作成による各校完全実施 • 小学校「国算理鹿嶋市独自学力テスト」作成・実施 • 大野中学校校庭拡張工事実施 • 小学校の学力は, 平成23年度から県・国とも全国平均を越えているが学校間格差は出始めている • 鹿嶋市子ども議会開催(小学生対象) • まちづくり市民センターと大野ふれあいセンターに太陽光発電設備設置 • 学校防災推進委員会の設置, 各学校で防災訓練等の取組み開始(筑波大の協力) • 専任の学校図書館司書を, 豊津小学校及び豊郷小学校, 大同東小学校, 鉢形小学校を加えた12校全てに配置
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> • 地域における幼・小・中連携行事の推進 • 青森県五所川原市との小学5年生交流(派遣) • 中学生9泊11日のカナダ英語研修(ホームステイ) • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始 • 小学校にタブレットの導入(6校) • いじめ問題等対策委員会規則制定 • 英語習熟度テストの導入 • 児童生徒交友関係テスト • 幼・小・中学校に扇風機設置 • 小・中学校のトイレ洋式化 • 専任の図書館司書を中学校図書館として始めて高松中学校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> • 鹿嶋市いじめ基本方針の策定 • 平成18年度から始めた夏季休業日の3日間短縮を従来どおりに戻す。 • 通学区域再編に向けた検討準備委員会の開催 • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクト継続 • 児童生徒交友関係テスト（ハイパーQ Uテスト）の実施 • 鹿嶋市子ども議会開催（中学生） • 中学校図書館整備と図書館司書配置（平井中・鹿野中） • 青森県五所川原市との小学5年生交流（受入） • 中学生9泊11日のカナダ英語研修とホームステイ • 小学校にタブレットの導入（6校）※全小学校導入完了 • 学校給食費の改定と口座振替開始 • 平井認定子ども園の開園に伴い、平井幼稚園を閉園
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正(総合教育会議，教育長と教育委員長の統合等) • 教育総合会議の開催及び鹿嶋市教育大綱(平成28年度～平成33年度)の策定 • 第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画(平成28年度～平成37年度)策定及び公表 • 市長部局(市民協働部)にて補助執行していた社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を教育委員会事務局内に戻す。 • 学校との共催によるフロンティア・アドベンチャー事業の実施 • 青森県五所川原市との小学5年生交流（派遣） • 様々な異文化，国際理解教育の推進（英語研修施設での短期集中実践研修，イングリッシュラウンジの開催，鹿島学園留学生の中学校への交流事業） • 改正前地方教育行政法に規定による教育長が辞任し，新教育委員会制度へ移行 • 放課後児童クラブ開設数21クラブ(鹿島小1増，三笠小1増，波野小1増) • 2019年茨城国体開催に向けサッカー場整備計画策定 • 高松公民館改築工事完了(鉄骨平屋建て660㎡，非常用発電機設置) • 中央図書館の環境改善工事(トイレの段差解消,乾式化及び洋式化) • 教育センターを開設し学校教育全般を支援する体制を構築する。あわせて適応指導教室を統合することにより連携のとれた各種相談事業を展開する。

<p>平成28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学校一貫教育検討委員会の開催(高松小中学校をパイロット校として平成30年4月開校に向け準備) • アプローチ・スタートカリキュラムの改訂 • 青森県五所川原市との小学5年生交流(受入) • 様々な異文化、国際理解教育の推進(英語研修施設での短期集中実践研修、イングリッシュ라운ジの開催、鹿島学園留学生の中学校への交流事業) • 平成32年度(鹿嶋市は30年度)小学校における英語必修化に向けた学級担任主体の英語授業への展開 • 学校図書館整備事業(鹿島中、大野中の整備 ※全校完了) • 鹿島小学校(北校舎・南校舎)及び鹿野中学校体育館の大規模改造事業 • 放課後児童クラブ開設数23クラブ(鹿島小1増、豊郷小1増) • 学校支援ボランティア制度の事業開始 • 国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用計画の策定(3カ年) • 青少年のための科学の祭典鹿行地区大会の開催 • 企業と連携した子どもの体験型情操教育(鹿嶋っ子夏フェス) • 勤労文化会館の第2期大規模改修事業(A棟の外壁等工事) • 観光と連携し地域資源を利活用したスポーツ大会の開催(ビーチラン、ビーチサッカー大会等) • 2019年茨城国体開催に向けサッカー場の整備(北海浜多目的球技場：天然芝敷設 10,350 m² 駐車場 5,276 m²)
---------------	--